

龍門山

2013年06月08日(土) [日帰り]

メンバー9人

天候：晴れ時々曇り

アクセス： 南海高野線なんば駅 7:48 発 急行「橋本」行きに乗車
 「橋本」駅 8:55 着 JR 和歌山線「粉河」方面行に乗り換え
 「粉河」駅 9:40 着

*** コースタイム ***	*** コース状況 ***
粉河 駅 9:45	粉河駅から、登山口まで、果樹園の間の舗装路を3キロ以上歩く。日当たりのよい斜面が続くので、夏場は結構厳しい。全行程が約12Kmだったので、コースの半分はこの舗装路歩きといえる
龍門山 登山口 11:00	私たちは、登山口から田代コースをとり、山頂まで行って中央コースを下る行程をたどった。道は、石がごろごろした滑りやすい道だった。斜面はそれほどきつくないが、田代峠まではひたすら登りが続く。
田代峠 12:05	田代峠を過ぎて、稜線に出たあたりから、キシモツケの花が満開で迎えてくれた。ほかにたくさんの春夏の山野草に出逢うことができた。
磁石岩 12:35	
山頂 12:50 (昼食)	
明神岩と風穴 14:05	
登山口 14:40 (いったん解散)	
粉河駅 16:20	

写真:



大阪「難波」駅から電車にゆられて約二時間、やっと登山口のあるJR「粉河」駅に着いた。



駅から西国札所のある「粉河寺」方面に向かって歩く。橋の向こうに見える台形の山が、龍門山。



橋を渡ってそのまま、まっすぐ龍門山方面に向かう。



ここから、両側に果樹園の広がる舗装された農道を歩く。



桑の木がたくさん実をつけていた。食べられるとのこと、味見してみる。ものすごく甘くておいしい。でも手と口の周りが真っ赤になってしまった。



果樹園の間から、さっき来たJRの駅が見えている。結構登ってきたが、まだまだ舗装路は続く。



歩くこと約45分、やっと登山口についた。



田代コースをとって山頂に向かう。



コースの始まりはこんな感じ。ここから、延々と登りが続く。



登山口から石のごろごろする登山道を進むこと1時間で、やっと田代峠に到着。ここから稜線に出る。



稜線に出た途端、周囲は満開の花・花・花。白いキイシモツケが私たちを迎えてくれた。



黄色のカキノハグサもたくさん咲いている。



シロイトソウ



見事なキイシモツケの群落。



キイシモツケのトンネルをゆくメンバー。



360度どちらを向いてもキイシモツケ。本当にきれい。



花を愛でながら歩くと、しばらくして岩がごろごろしたところに出る。有名な磁石岩。



コンパスを近づけると、本当に針がぐるぐる回った。



岩の周りもキイシモツケの群生。



磁石岩から5分ほどで山頂の展望台へ。



山頂は広場になっている。ここで、昼食・休憩をとった。



山頂三角点。展望台の横にあって、通り過ぎてしまった。



キイシモツケの花の蜜を吸うてんとう虫。



帰りは中央コースを通過して登山口に向かう。



途中で、カイチョーが、葵の葉を見つけて、その周りを掘った。



土の中から茶色の花が現れた。土の中で咲く葵の花を初めて見て、感動した。



下っていくと、突然大きな一枚岩の下に出た。岩のそばに、洞窟の入り口が！



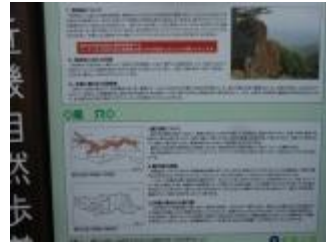
岩の上で休むメンバー。



この岩は明神岩。リングボルトが打ち込まれていて、クライミングの練習に使われているようだった。



岩の下は断崖絶壁。目がくらみそうになった。



洞窟は、30Mもあって、昔は蚕の貯蔵庫に使われていたよう。



ガマズミ



ハウノキが、大きな花をつけていた。
下からじゃ見えない？



カキノハグサ



やっと登山口まで戻ってきた。



花粉症の大敵、杉の実



カラスノエンドウ



ヘビイチゴがたくさん。
食べてみると甘酸っぱくておいしかった。



登山道の分岐まで戻る。



ゴールの粉河駅はまだはるか遠い



自生しているビワをいただく。
小さな実だったが、おいしかった。



サクランボが生り放題でほったらかしにされていたので、持ち主の方に許可をいただいて、サクランボ狩りが始まった。
みんな必死でサクランボを収穫！
すごく甘くておいしかった。



この日の16:17ごろ、和歌山県で震度4の地震が発生！
JRが止まってしまう、遅れること45分。
やっと電車に乗ることができた。

*** 感想／記録 ***

今日は、宝塚からはるばる電車を乗り継いで3時間かけての遠征
別名「紀州富士」とも呼ばれる龍門山。残念ながら粉河方面から見た山は、台形をしていた。和歌山側から見ると、本当にきれいな円錐形に見えるらしい。

県の天然記念物である「キイシモツケ」の満開時期に合わせての山行だったが、本当に今が真っ盛りの見事な群落を見ることができた。

また、山は花と実の宝庫。
近くの果樹園から、鳥が種を運んできたのだろうか。
何の手入れもされていないビワや桑の実のおいしいこと！

ほかにも、野イチゴやグミの実、いろんな食べられる実がたくさんあって、そのどれもがとても美味。

たくさんの花に出迎えられて、おいしい木の実、草の実をたくさん食べて、おみやげまで持って帰れてみんな大満足して帰ることができた。

自然の恵みに感謝！感謝！！